

仏教の未来に挑戦する情報誌

フリースタイルな 僧侶たちの フーマジシ

2012/12・2013/1

Vol.20

Japan

since 2009.8

Special

「過去のなかにある未来」

千日山 弘昌寺 烏居弘昌住職



Ayakaのヘルシー精進レシピ / こちら僧医外来
イベントインフォ"仏教体感" ETC

<http://freemonk.net>

「過去のなかにある未来」

千日山 弘昌寺 鳥居弘昌住職

文・辻村優英（20号輪番編集長）



「ミナミ」（難波駅周辺）は「キタ」（梅田駅周辺）と並ぶ大阪の中心地である。利息はトイチ、「逃げれば地獄まで取り立てに行く」がうたい文句の裏金融を描いた「ミナミの帝王」という映画の舞台だ。そこに千日山弘昌寺がある。

山号の通り、千日前のど真ん中、法善寺のすぐ近くだ。お寺の周りに立ち並ぶのは樹木ではなく、飲食店や風俗店のビルである。取材に伺った時、鳥居弘昌（俗名・鳥居学）住職はこれから焚く護摩の準備中だった。護摩とは、fire ritual と英訳されるように、細長い木（護摩木）を正方形の壇（護摩壇）の中央で燃やし、その炎のなかに本尊を勧請する宗教儀式である。

通常日本のお寺の護摩壇は、「護摩堂」などと呼ばれるお堂のなかにあり、外からは見えなくなっている。ところが、弘昌寺の護摩壇はビルの軒下であり、道路と護摩壇を隔てるものはなにもない。護摩壇の前で準備をする住職を見かければ、道行く人が気軽に声をかけ、住職はそれに笑顔で応える。たった15分ほどの準備の間に何人が住職に声をかけただろうか。

弘昌寺には立派な堂宇があるわけではない。ビルの1階の、以前カフェだった1室が寺になった。何百年も続くような古刹などではなく、もちろん檀家は一軒もな



鳥居弘昌 (とりいこうしょう)

千日山弘昌寺住職・株式会社鳥居ビル代表取締役社長・TORII HALL 代表
1959年、大阪市南区阪町生まれ。1982年、甲南大学卒業。1987年、株式会社大丸退社。1989年、会社設立。1991年、(株)鳥居ビル社屋完成、トリイホール棟落し。1994年、京都山科勸修寺にて得度。2002年、千日前一丁目振興町会会長。2005年、法善寺前本通り商店会設立。2011年、勸修寺にて灌頂、千日前1丁目にて護摩法要始める。2012年、千日山弘昌寺開山。

い。このお寺の始まりは、住職の目の前にあるたった一つの護摩壇だった。

「トリイホール」という劇場の経営者でありながら僧侶になった鳥居住職は、弘昌寺を開山するまでのいきさつを語ってくれた。

「トリイホールのある『上方ビル』はもともと旅館『上方』でした。」

鳥居住職の父・鉄三郎氏は千日前にて旅館「上方」を経営していた。そこは、松本幸四郎、尾上松緑、古今亭志ん朝、立川談志、桂米朝、朝丘雪路、津川雅彦、緒形拳など、そうそうたる著名人が出入りする旅館だった。桂米朝をして「粹人やったんやなアと感じ入りました」と語らしめるほど、上方の芸や大阪の郷土史に造詣の深い人物だった鉄三郎氏は学氏が19歳の時に他界する。母・辰子氏も25歳のときに他界。その後、時の趨勢とともに、旅館「上方」は閉店へと追い込まれてしまい、当時大手百貨店につとめていた学氏は退職を余儀なくされる。そこへ、「こゝは上方芸能の中心地なのに若手の落語家を育てる場所がない、それを作ってほしい」という桂米朝の声に応えた学氏は旅館「上方」の地に「上方ビル」を竣工、そこに劇場「トリイホール」を立ち上げる。その後、上方芸能の振興に全力を挙げて



邁進した。その最中、35歳のときに最大の転機が訪れる。

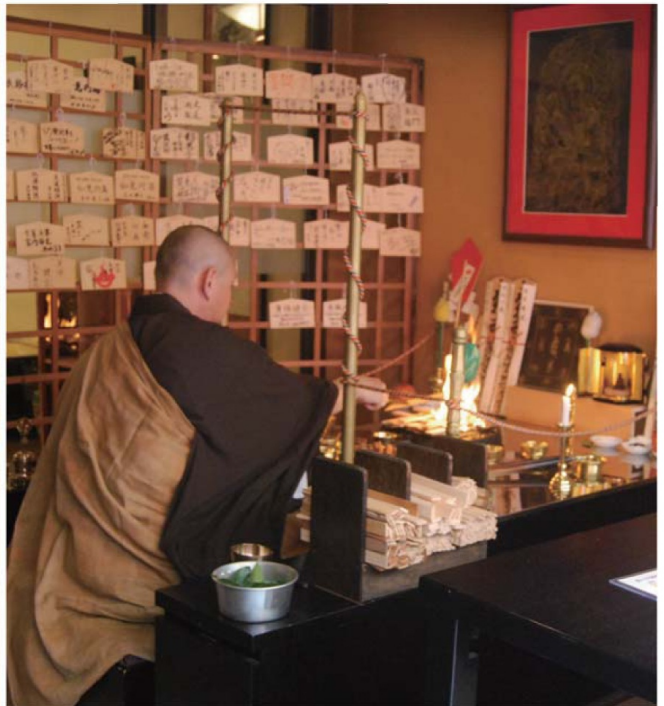
「突然産みの親が現れました。それまでずっと、鳥居の両親の子供やと思ってました。そのとき初めて、自分がもらわれてきた子供やという事実を知ったんです。」

自分が父・鉄三郎氏の実子ではない、ということを目の当たりにした学氏は、親交の深かった僧侶にその胸中を相談した。ずっと育ててきてくれた両親の菩提を弔いたい、さりとて別に生みの親がいる、どちらにも恩返しをするにはどうすればよいか。この問いに対して僧侶はこう答えた。仏門に入れば、「家」に関係なく両親の菩提を弔うことができる。学氏の心は定まった。すぐさま得度、僧侶としての名を授かり、「学」から「弘昌」となった。

「実の子と違うのに、うちの両親はほんまよくかわいがってくれました。僕に何不自由ない生活をさせてくれた。うちの両親が愛したこの町を、ずっと守っていく、もっと良くしていくことが、亡くなった両親への一番の親孝行やと思っ
てます」。

千日前は、大阪の中心をなす都市の一部である。社会学者のリチャード・セネットは「都市」(city)を「見知らぬ者たちが出会う居留地」(a human settlement in which strangers are likely to meet)と定義した。同じく社会学者のジークムント・バウマンはこの定義を参照しつつ、近代社会における見知らぬ者同士の出会いは、「非出会い」(a mis-meeting)であるとしたり。バウマンのいう「非出会い」とは、過去のつながりの感覚、会わずにいたあいだの試練・苦悩・喜び・楽しみについての語り、共有する思い出、共通のよりどころや進展させる共通性といったものが存在しない、「過去のない出来事」のことである。バウマンによれば、こうした出会いは「未来のない出来事」であり、その場で完結する一回かぎりの偶然にすぎない。そうした都市の状況はモラルの低下を引き起こし、経済の低迷はそれに拍車をかける。

「日本経済が下向きになると同時に町の治安や雰囲気が悪くなって、人通り





も少なくなつた。物騒な事件もたくさんあつた。ここは商売の町やから、そんなんではやっていけない。もつとたくさんの人に来てもらうには、まず町の雰囲気や良くていかなかん。それで護摩を焚き始めたんです。一番最初に焚いたのは、この町内のご真ん中でしたね……」。

そう語りながら、江戸時代から現在にいたる千日前の歴史的経緯を、鳥居住職は古い地図を指しながら詳らかにしてくれた。過去と今を紐解く住職の姿はまさに飛耳長目、この町への強い思いが滲み出ている。

「この辺は昔、刑場や焼き場があつたところで、たくさんのお墓があつた場所です。竹林寺さんと法善寺さんが千日廻向をしていたから、千日前という名前になつた。でも今となつては竹林寺さんは移転し、法善寺さんも戦災以

来本堂がありません。昔のようにこの土地で供養しているお寺が無くなつてしまつた。だから最初はこの土地の鎮魂のために護摩を焚こうと思ひ、それから毎日焚いています。護摩を焚くことで町が良くなつていくと思つています」。

ここで正直な胸中を明かせば、「護摩を焚くことで町が良くなる」という住職の言葉を聞いたとき、「そうですよね」と素直に頷くができなかった。町を良くする取り組みと言へば、ゴミ拾い・植樹といった住民参加型のイベントや、ガーデアン・エンジェルスのような自警団による見回りといった、実際的な手法が思い浮かぶ。実際鳥居住職は、千日前に暮らすフィリピン人たちの孤立化を防いで治安を守るために、彼らの自助組織を立ち上げ、精力的に活動している。新聞にも取り上げられたこの取り組みが評価され、フィリピン領事館からの支援を受けるようになった。鳥居住職の話聞きながらこうした現実的な手法に大きく頷く一方、護摩に町を良くする効果なんてあるのか？という疑問が頭をもたげていた。空海などが国家安泰のために護摩行を修したように、現世利益の効果が護摩にあるとみなされていることは浅学ながらも知っていた。しかし、それはあくまで観念上の問題であつて、現実の町を実際に変えることなんて不可能なのではないか？

「以前、トリイホールで料理のイベントをやりました。舞台上で料理のパフォーマン스가終わつてお客さんが帰つていくとき、3人くらいのおばちゃんたちが突然舞台上に上がつてきた。何するんかなと思つて見てたら、『食べてみたか？』って言いながらパフォーマンスで使つた料理を勝手に食べた（笑）。もう、こらあかんと思ひました。ええ歳の大人がこんな礼節のない態度では絶対町は良くなりません。なんでしょね、『畏れ』みたいな感覚が必要なんやと思ひます」。

そう語りつつ鳥居住職は千日前の町を少し案内してくれた。護摩の準備をしている時と同様、いろんな人が住職に声をかける。それは、この町の昔を



知り尽くし、今を作ってきた鳥居住職への信頼の表れであろうことは、話しかける人の笑顔が物語っている。そうした人情味あふれる風景を目の当たりにしつつも、繁華街独特の喧騒に身を包まれ、昼間といえどもどこか気を引き締めなければいけない警戒感がつきまとう。

「少し前はこの辺なんか、ほんま暗い雰囲気、なかなか人も寄り付かへんようなところやったんです。ほんで、ここは……」。

千日前には何度か来たことがあったが、その場所の過去や今がどのような姿をしているかなんて気にかけたこともなかった。仮にどこかのお店で見知らぬ誰かと話をしたとしても、それはまさにパウマンがいうような「非出会い」でしかないのかもしれない。しかし、鳥居住職の案内に触れていると、この町の過去と今とに「出会って」いる気がしてくる。

一通り千日前を案内してもらったあと、弘昌寺の護摩壇が目に入ってきた。そのとき、「護摩を焚く

ことで町が良くなる」という住職の言葉が脳裏をよぎった。なんとも言えない安心感に包まれ、繁華街の喧騒から身を護ってくれるような弘昌寺の落ち着きを肌で感じたからである。それはどこか身の引き締まるような感覚をもともなっていた。無誦、こうした感覚はあくまで主観的なものに過ぎず、一般化することはできない。しかしながら、筆者のなかで、こういうことか、と住職の言葉が腑に落ちた瞬間だった。護摩自体が有するとされる神秘的な力については「わからない」が、護摩が醸し出す雰囲気には何かしらの効果があるのかもしれない。

「護摩焚いているのが目に入ったら、やっぱりちょっと立ち止まるでしょ。それは、身体の歩みを止めるってことだけじゃなくて、心を止めるって意味でね。そこで一瞬でも自分を見つめ直して、悪いことせんところって思うかも。自分を超えた何かへの『畏れ』の感覚が芽生えて、ちょっとでも自分の心を落ち着かせて、身を引き締めるような人が増えていけば、だんだん町が良くなっていくと思うんです。不思議なことに、護摩を焚き始めてからはんまに雰囲気よくなりましたからね」。

鳥居住職の手法を、例えば歌舞伎町のような他の町にも応用すれば、同じようにできるだろうか。「いやー、そんな簡単なもんやないと思いますね。場所への執着が絶対要ると思います。何が起ころうと、そこに骨を埋める、人柱になる覚悟がないとずっと続かないですよ」。

護摩を焚き始めて一年半余り。それはしつかりと

した「過去のある」護摩である。自分の過去、自分を育ててくれた両親の過去、そしてそれらを包みこむこの町の過去。こうした過去に真正面から向き合い、支えられているからこそ、この町の明日へとむかう強靱な意志が生まれるのだろう。その意志に支えられた「未来のある」護摩の炎は、今日も千日前を明るく照らしている。



かぼちゃの豆腐クリームパスタ フレッシュハーブ風味

Ayakaのヘルシー精進レシピ



材料 (2人分)

木綿豆腐 1丁 (300g程度) レモン汁 大1
かぼちゃ 150g 塩こしょう 適宜
E.V.オリーブオイル 大1
くるみ (食塩無添加のもの) 大2
ハーブ (バジルやイタリアンパセリなどお好みで) 適宜
パスタ (ペンネなどショートパスタがおすすめ) 160g

作り方

- 1 豆腐は重しをかけてよく水切りをする。かぼちゃは蒸して皮をむいておく。くるみは5mm角程度に刻む。
- 2 1をブレンダーにかける。なめらかなクリームにするためには、5分以上攪拌するのがおすすめ。なめらかなクリーム状になったら、レモン汁とオリーブオイルを少しずつ加えながら、さらに攪拌。きっちり乳化したら、塩こしょうで味をととのえる。(レモン汁を多めにするチーズっぽい味が楽しめる。)
- 3 鍋にたっぷりのお湯に塩をひと掴み(分量外)入れ、パスタを表示時間より1分短くゆでる。2のクリームにハーブの半量を刻んで加え、小鍋で温めておく。
- 4 ゆであがったパスタにクリームをしっかりと和え、くるみと残りのハーブを大ぶりに散らして出来上がり。

こちら僧医外来

浄土宗西山禅林寺派光明院住職・田中医院院長
僧医 田中善紹



第3回。胃ろうは造らない

80才女性。パーキンソン病で体の動きが次第に不自由となり、寝たきりの生活になってきました。娘さんが家で介護をされていたのですが、大腿骨を骨折し病院に入院されました。

骨折が落ち着いてきたので家に帰り、訪問診療をお願いしたいとの相談です。お寺の檀家さんで、私の小さいときから存じあげている方です。もともと当院で診察をしていましたので病状は分っています。お家にはお参りに伺っていますので、家の状況も良く存じています。

「本人も最後は家で療養し、ご住職に看取って頂くのが希望です」とのこと。こちらも、以前からそれが一番良いと言っていましたので、勿論そのつもりですとお返事しました。

ただ、退院にあたり病院の主治医から、「飲み込む機能が落ちているので気管に食べ物が入りやすくなっている。ついては胃ろうを造ってどうか?」とすすめられたが、私はそういう処置はしたくない。どうしたものかというのが次の相談です。

胃ろうは栄養管理という意味では良いのですが、人らしい生活を送るという意味では抵抗があります。他にもいろいろな方法もあるので、退院してから一緒に考えましょうということにしました。退院日も決っていたのですが、突然の骨折部位からの出血の為、残念ながら病院で亡くなってしまいました。葬儀の席で「家につれて帰れなかったのは残念だけれど、ありのままの体で良かったです」と娘さんはお話されていました。

胃ろうは、造る造らないの選択を求められる処置です。仏教ではいのちを大切に、より良く生きること教えます。そうした中で、胃ろうを造ることが本当に良いかどうかは個々で異なります。

その判断に困る方は是非「僧医外来」にお越し下さい。一緒に考えたいと思います。

「僧医外来」ホームページは
<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/tanakazk/>

仏教体感

京都

メリシャカライブ2012

日時:2012年12月22日(土)15:30(受付14:30、開場15:00)
 会場:京都 西本願寺 聞法会館
 出演:後藤正文 (ASIAN KUNG-FU GENERATION)
 YeYe (イエイエ)
 <読経・法話>浄土真宗本願寺派若手僧侶
 <パネルディスカッション>
 ~仏教と、音楽と、わたしたちの、これからと~

パネリスト
 釈 徹宗(浄土真宗本願寺派如来寺住職、相愛大学人文学部
 教授、日本仏教学会理事)
 松本紹圭(浄土真宗本願寺派光明寺僧侶、蓮花寺佛教研究所
 研究員、超宗派仏教徒のウェブサイト「彼岸寺」設立)
 後藤正文

チケット:前売3,000円・当日3,500円
 お申し込み:第二次受付は、12月2日15:00より開始します。
 主催:メリシャカ <http://www.merry-shaka.com/>
 後援:仏教伝道協会
 問い合わせ先:merrysakalive@gmail.com

*メリシャカLIVE2012の予約は、定員数(350席)に達
 しましたので、終了いたしました。好評につき追加席を
 ご用意し、キャンセル受付分と合わせて再募集したい
 と思います。12月2日(日)15:00より、メール受付開始い
 たします。(最大で50席ほどを予定しています。スペース
 に限りがあるので、ご了承ください。)

12.22

静岡

初めての宿坊体験

静岡県・可睡斎の月心会

東海道のどまんなか。静岡県袋井市にある曹洞宗・可睡
 斎専門僧堂さんのご協力により、初心者の方でも気軽に参
 加できる宿坊体験ツアー「月心会」を開催します。

坐禅・写経・精進料理・朝のお勤めと、宿坊での楽しみを
 フルセットで体験し、雲水(修行僧)さんによるお寺の見ど
 ころ案内や、老師様による法話もお話して頂くこの企画。
 ご担当頂いているお坊さんも思いっきり力がこもり、特別
 プランとして普段は入れないような坐禅堂も使わせて頂く
 予定です。

日程:2013年1月13~14日(日・祝)

集合:可睡斎受付(現地集合です)

参加費:10,000円

(宿泊料金、昼・夕・朝・昼食、坐禅・写経等の体験料込み)

お申し込み、お問い合わせ:
 宿坊研究会
 (<http://syukubo.com/>)に特設
 ページを設けていますので、そ
 ちらにどうぞ。



1.13
/14

体験レポート

お寺で対話する夜@常行寺



11月1日、品川にある天台宗のお寺、常行寺で開かれた「お寺で対
 話する夜」にお邪魔してきました。参加者とお坊さんが、その日のテー
 マについて話し合うというこのイベント。今回で4回目のこの日のテー
 マは「自信と不安」。「今、一歩踏み出すために克服したい不安は何で
 すか?」という問いかけが出され、10名の参加者と5名のお坊さん(天
 台宗、臨済宗、曹洞宗、浄土真宗と宗派もさまざま)が、3つのグルー
 プに分かれて話し合います。

お寺だし、お坊さんもいるし...ということでもちょっと堅苦しい感じを
 想像していましたが、とても和やかに自己紹介が進みます。あれ?思っ
 たよりもゆるい??

いよいよテーマに突入。ここでも、参加者の不安や悩みに対して、お
 坊さんが一方的に仏教的なアドバイスをするのかと思いきやそんな
 ことはなく、参加者もお坊さんも垣根をこえて、それぞれの思いを話し
 合います。時にはお坊さんの真剣な悩みに、みんなが耳を傾ける場面
 も。お坊さんにも不安ってあるんですね。

仕事に追われた平日の夜に、人とゆっくり対話して、自分が思ってい
 ることに改めて気づく。そしてどうやって生きていくか考える。お坊さん
 はそっと、その手助けをしてくれるのです。(大來ちひろ)

お問い合わせ:主催 友光雅臣 braindive@hotmail.com

CD発売

仏教のこころを歌う!

住職=実力派シンガー メジャーアルバム 12/5発売!

本誌17号(2012年6・7月号)の特集インタビュー「僧侶として歌う道」でも紹介した、三浦明利住職のメジャーデビューアルバムCD「灯り—akari—」。

代表曲「ありがとう~私を包むすべてに~」を含む10曲に、ボーナストラックとして三浦明利住職の法話「あかりの法話」が収められている。

澄んだ歌声で響く、やさしさあふれる世界観は必聴!

三浦明利「灯り—akari—」
2012年12月5日発売
2,800円
発売元:オーマガトキ



収録曲

1. 花束レクイエム
2. 雨上がり
3. 絆
4. 未来からのメッセージ
5. Asian Soul
6. 恩徳讃 親鸞聖人御和讃
7. 応援のうた
8. en
9. 手を合やす日々
10. ありがとう~私を包むすべてに~ -album ver.-
11. 法話-bonus track- 灯~撮取不捨~エンドロール

12.5

大阪

仏名会 禊ぎの300礼拝

1年間のあいだに溜まった心の垢を洗い流し、清らかな気持ちで新年を迎えませんか?

人の心はうつろいやすく、知らず知らずのうちに良くない行いを重ねてしまいます。

仏教では古くから年末に仏様のお名前を称えて、懺悔(さんげ)礼拝する法会をおつとめしています。礼拝行をかさねていく中で、1年間のさまざまな行いを反省し、心を清らかに整えていきましょう。

最後には、新年が幸多いことを祈願いたします。

■平成24年12月8日(土)14:30~17:00

参加費:500円

定員:30名(※ホームページよりお申し込みください)

会場:真言宗 薬師院

大阪府岸和田市宮本町28-22

アクセス方法は

[こちら](http://www.yakushiin.sakura.ne.jp/annai.html)
<http://www.yakushiin.sakura.ne.jp/annai.html>

※終了後にイベントを行います。詳細はWebにて

※服装などについて:

一般の方は動きやすい服装、礼拝に参加したい方はお着替えを持ってください。

僧侶の方はよろしければ、法衣・如法衣をご被着ください。

寒い時期ではありますが300礼拝すると汗をかきます。お着替えやタオルなど各自ご持参ください。

12.8

京都

経典をナナメから読む会 ~仏教は失恋に効くのか!~

「失恋したときにお釈迦様ならどんな言葉をかけてくれただろう」というスタッフ 辻村優英(当時失恋中)の素朴な問いかけから始まったのが、「経典をナナメから読む会」。

この勉強会では、人間の永遠のテーマである「失恋」をはじめ、参加者それぞれの日々の悩みに向き合いつつ、経典の言葉をひもといていきます。

※各回のテキストはこちらでも準備いたしますが、予習された方はお買い求めください。

- 第12回 平成24年12月5日(水)・22日(土)19時~21時
テキスト:『大乘仏典(6)浄土三部経』(承前・中公文庫)
- 第13回 平成25年1月16日(水)・19日(土)19時~21時
テキスト:『世界の名著(2)大乘仏典』より「存在の分析」
(中央公論社)

会場:フリースタイルな僧侶たち オフィス
京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町583-5
kawaramachi place 1002号室

会費:1,500円(フリスタ会員は1,300円)

※うち1,000円は震災復興支援のため寄付いたします。)

定員:10名

※フリースタイルな僧侶たちホームページよりお申し込みください。

12.5
他

「経典をナナメから読む会」開催後に、ダイジェスト版を収録し、Webにて公開中! お聴き逃しなく!

TV

Hokke.TV
Namumyohourengekkyo.net

Hokke.TV、本格的に開局!

法華経って?仏教って?お寺って?お坊さんって?身近なようにまだまだぜんぜん遠い仏教や法華経の世界をもっと知ってほしい!生身の僧侶たちによる開かれた放送局が、11月23日ついに本格的にスタート!

- 毎週 火曜日22:00~22:30「三人よればI think 僧!」
京都で行われた日蓮宗の行事などを中心にお伝えしていく情報番組
- 毎週 水曜日22:00~22:15「三木天道の仏教の壺」
仏教を誰でもわかり易く気軽に学べる15分番組
- 毎週 木曜日22:00~22:30「ジューズコネクション」
あらゆるゲストをお招きしその方の今までの生き方や、活動、今後についてトークをする番組
- 毎週 金曜日20:00~20:30「上田尚史のシャカリキ・ドン」
毎回ゲストを迎え「ドンドン」と忌憚なく、トークする番組
- 毎週 土曜日01:00~03:00「仏僧な真夜中」
放送中にFacebookやTwitterから送られてくるコメントに対してぶつぶつと答えていくラジオ的深夜番組などなど、12番組を制作しています!

インターネット環境があれば、いつでもどこでも何度でも、視聴できます!世界に法華経を届ける動画制作編成配信局、Hokke.TVに、ぜひぜひアクセスしてください!

☞<http://hokke.tv/>

11.23

編集後記

20号輪番編集長 辻村優英

最近「ソーシャルキャピタル」という言葉をよく耳にする。多義的な言葉であるが、ここでは互惠的な人的ネットワークとでもしておく。「朝一坐禅」や「経典をナナメから読む会」といったこれまで私が関わってきたフリスタのイベントに隠された目的はソーシャルキャピタルの形成に寄与することであった。

巻頭記事に書いたことを踏まえていうと、近代社会がバウマンのいう「非出会い」で占められているならば、「出会い」の場を仏教というツールを用いて作り出したいとの思いがそこにはあった。鳥居住職や、フリスタのイベントにご参加頂いているみなさまのお話を伺っていると、そうした「出会い」の場においてこそ仏教が息づくことができるのだろうと気付かせられる。その他、経典などの仏教書だけでは決して得ることのできないことをいつも学ばせて頂いている。

フリスタに少しでも関わりを持ってくださっている方々へ、この場を借りて篤く御礼申し上げます。

辻村優英 (つじむらまさひで) プロフィール
高野山大学密教文化研究所受託研究員・総合地球環境学研究所技術補佐員
1980年生まれ。京都大学博士(人間・環境学)。専門は宗教学。主な論文に、「ダライ・ラマ 14 世における環境思想—植物の位置づけを中心に」(2012)、「Suffering as a Gift: Compassion in the Fourteenth Dalai Lama」(2011)、「孤独の文明」と「共苦の哲学」—現代社会とダライ・ラマ 14 世」(2009)など。

BOOK REVIEW

『お寺ごはん』の食事といえば精進料理だが、そのストイックな印象から敬遠する人も多いかもしれない。けれど「お寺ごはん」ときけば、なんだかお寺のまかない料理のようで、ほんわか、親しみやすい。

著者は「料理僧」を名のり、食を通して仏教の教えを伝える、青江覚峰氏(通称 KAKU)。

ページをめくると、だしのとりに方からデザートまで、精進を忘れそうなほど、作りやすくおいしそうレシピが並ぶ。しかも本書では精進料理の過去を鑑みて、乳製品を使用可能としており、いっそう日常にとり入れやすい。

しかしそれだけなら、ふつうの良質なレシピ本。この本の妙味は、汁もの、焼き物など調理法ごとに設けられた中表紙と、レシピごとのメモ欄につづられた言葉にある。

前菜でご縁を結び、汁もので無常を知る。焼き物では欲求をこらえて己の心を見つめ、デザートでは求めすぎないことが肝心だと学ぶ。

ただ調理するのではなく、食と真剣に向き合うことで気づく「仏の教え」が書かれてあり、ハッとする。

数珠はなくても包丁一本で、心においしい仏教をとりいれることができるのだ。



『お寺ごはん』
青江 覚峰(著)/ディスカヴァー・トゥエンティワン/1,155円(税別)



読者のみなさまからのお便りを紹介!

フリスタではみなさまのお便りを募集、紹介しています。今回はメールで届いたお便りからのご紹介です。

楽しくて一気に読んでしまいました!

素朴な質問に答える、というのがいいですね。

お坊さんの日常が垣間見えて、とっても興味深かったです。

特に失恋についてのQ&Aが印象的でした。仏教って普段の生活の中にもつながってるんですね。

次号も楽しみにしています!

(T・Sさん・30代女性・京都府)

誌面に関するご意見、ご感想もお待ちしております。お気軽にお便りください。応募は郵送、FAX、電子メール、また Web サイトでも受け付けます。ご応募お待ちしております。

あて先: フリースタイルな僧侶たち 編集部
☎600-8119 京都市下京区河原町通
五条下ル本塩竈町 583-5
kawaramachi place 1002 号室

FAX : 075-777-9579

Email : info@freemonk.net

Web : http://freemonk.net

サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、

応援していただける方を大募集中!!

対象者 フリスタを応援してくださる方
協賛年会費 5千円(個人)/3万円(法人)

※サポーターズ・クラブの皆様には、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また、フリスタ主催イベントにおいて、優待いたします。

※法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先: 三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口 龍法

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください。

広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」
に広告を出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店まで、様々な場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中(ホームページで確認できます)!
興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

《媒体情報》

仕様: A4 サイズ・12 頁・カラー

発行部数: 10,000 部 (2012 年 12 月現在)

協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆様は厚く御礼を申し上げます。以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

安心院 (京都府八幡市・浄土宗)
 安楽寺 (京都府南丹市・浄土宗)
 石尾山弘法寺 (大阪府和泉市・真言宗)
 延命寺 (大阪府堺市・浄土宗)
 円融寺 (東京都目黒区・天台宗)
 九品寺 (京都府京都市南区・浄土宗)
 慶蔵院 (三重県伊勢市・浄土宗)
 光照院 (東京都台東区・浄土宗)
 光徳寺 (大阪府大阪市東淀川区・浄土真宗本願寺派)
 光明院 (福岡県みやま市・浄土真宗本願寺派)
 光明院・田中医院 (京都府京都市中京区・浄土宗西山禅林寺派)
 光明寺 (奈良県吉野郡・浄土真宗本願寺派)
 光明寺 (滋賀県草津市・真宗興正派)
 金剛寺 (京都府京都市東山区・浄土宗)
 西明寺 (兵庫県尼崎市・浄土宗)
 浄栄寺 (滋賀県東近江市・浄土宗)
 浄元寺 (兵庫県尼崎市・浄土真宗本願寺派)
 性高院 (愛知県名古屋市中区・浄土宗)
 常楽寺 (新潟県岩船郡・曹洞宗)
 正善寺 (兵庫県伊丹市・浄土宗)
 正法寺 (京都府京都市東山区・時宗)
 勝樂寺 (東京都町田市・浄土宗)
 信賢寺 (福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派)
 瑞聖寺 (東京都港区)
 崇福寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)
 大圓寺 (東京都目黒区・天台宗)
 曇鏡寺 (大阪府枚方市・浄土宗)
 檀王法林寺 (京都府京都市左京区・浄土宗)
 潮音寺 (東京都大島町・浄土宗)
 長壽院 (東京都台東区・浄土宗)
 梅窓院 (東京都港区・浄土宗)
 宝泉寺 (愛知県津島市・浄土宗西山禅林寺派)
 寶満寺 (千葉県銚子市・浄土真宗本願寺派)
 法善寺 (大阪府大阪市・浄土宗)
 法然院 (京都府京都市左京区)
 法華寺 (京都府亀岡市・日蓮宗)
 無量光寺 (鳥取県鳥取市・浄土宗)
 業師院 (大阪府岸和田市・真言宗)
 龍岸寺 (京都府京都市下京区・浄土宗)
 一般社団法人 日本石材産業協会 (東京都千代田区)
 遠藤新兵衛商店 (京都府京都市下京区)
 株式会社 京美仏像 (京都府京都市北区)
 株式会社 薫寿堂 (兵庫県神戸市)
 株式会社 寺の友社 (京都府宇治市)
 寺院コム (京都府京都市左京区)
 浜屋 株式会社 (兵庫県姫路市)

※ 五十音順に表示しています。
 ※ 協賛は随時受け付けています。

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジンとは

日本では、「お坊さん=お葬式」というイメージが定着しています。しかし、仏教にいま求められるのは、お葬式だけのお寺とのつきあいではなく、先行きが見えず生きにくい社会を、心安らかに生きられる社会に変えて欲しいということではないでしょうか。

私たちは、その期待に応えるために、既成概念に固執することなく、日本仏教のあり方をフリースタイルに見つめ直していきます。

仏教を心のよりどころにして、いまを生きるということと一緒に考えてみませんか？

私たちは、本誌フリーマガジンを発行(年間6回・偶数月1日発行)して街中のカフェやバーなどで配布するほか、仏教を実際に体感できるイベントや法会も随時開催しています。詳細はホームページよりご確認ください。

また、一緒にこれからの仏教のあり方を考える僧侶の方々や、デザイナーやコピーライターなど誌面作りに一緒に参加いただけるボランティアスタッフも随時募集しています。

お問い合わせ先
 tel: 075-555-5730 fax: 075-777-9579
 info@freemonk.net

はっぴーだるま

高崎の福だるまが華やかな“黄金のお顔”に大変身！
 金色は「成功」の象徴 すっと咲きつづけるプリザーブド
 フラワーをまとい、可愛くなって登場です。



丸い姿：家内円満、そして幸福！
 Round body: Welfare & richness

はらみ顔：にらんで厄魔を遣さける
 Smiling face: Driving out noxious vapors



鶴 Crane & 亀 Tortoise
 represents 長寿 LONGEVITY

- ① 願いを込めながら、だるまの左目を書き入れる。
- ② 願いが叶ったら、もう片方の目を書き、神社仏閣やどんど焼き等でお炊き上げ(供養)する → 願いが入るように、「七転び八起き」でいきましょう！

- ① Make a wish, and paint an eyeball on his/her left eye.
- ② As your wish come true, please hold a religious service such as burning.

叶

<http://www.happydaruma.com> (実用新案登録3171677)

株式会社 ミーツ
 〒370-0875 群馬県高崎市藤塚町 430-1 TEL: 027-376-3344
 Email: info@splendore.jp FAX: 027-386-3345



Mamaia
**浜屋は
 関西最大級のお仏壇・お仏具・
 墓石の専門店です。**

浜屋は個人情報保護する企業を示す
 プライバシーマーク取得企業
 です。

やすらぎの世界を創る



お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は

通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
 イロイロクヨー
0120-1616-94
 ●受付時間/午前10時から午後7時まで

製造直売・関西最大級、30店舗の安心ネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| ■奈良王寺店/大和・王寺町 ☎(0745)31-2211代 | ■西宮店/171線・下大市 ☎(0798)51-2211代 |
| ■奈良生駒店/近鉄・生駒駅北 ☎(0743)83-2211代 | ■芦屋店/JR・山側西 ☎(0797)35-1194代 |
| ■岸和田店/2国・西之内 ☎(072)445-2211代 | ■三田店/三田・対中町 ☎(079)559-2211代 |
| ■堺鳳店/第2・阪和池 ☎(072)261-2211代 | ■神戸本店/元町・4丁目 ☎(078)371-2211代 |
| ■藤井寺店/近鉄・藤井寺 ☎(072)954-2211代 | ■新長田店/JR・新長田 ☎(078)621-2211代 |
| ■藤川店/中野・交差点 ☎(06)6709-2211代 | ■明石店/森友・交差点 ☎(078)927-2211代 |
| ■中環東大塚店/近鉄・西谷 ☎(06)6783-2211代 | ■加古川店/JR・駅南側 ☎(079)426-2211代 |
| ■姫路川本店/石津・交差点 ☎(072)829-2211代 | ■高砂店/明姫幹線・中島 ☎(079)443-2211代 |
| ■双万葉具問屋店/長尾・家具町 ☎(072)836-2211代 | ■姫路本店/駅前・御幸通 ☎(079)282-2211代 |
| ■高槻店/高槻・船屋町 ☎(072)683-2211代 | ■福崎店/福崎町・夜啼北 ☎(0790)22-2211代 |
| ■茨木店/茨木・大手町 ☎(072)622-2211代 | ■千代店/福知山・浜国治 ☎(079)272-2211代 |
| ■豊中店/豊中・郵便局横 ☎(06)6949-2211代 | ■龍野店/龍野・大橋東 ☎(079)162-2235代 |
| ■川西店/川西・火打 ☎(072)759-2201代 | ■赤穂店/赤穂・塩屋東 ☎(079)145-2211代 |
| ■伊丹店/阪急・駅前西 ☎(072)775-2211代 | ■山崎店/兵庫・山崎町 ☎(0790)62-5171代 |
| ■尼崎店/阪神・駅前西 ☎(06)6413-2211代 | ■浜屋漆工芸姫路・土山町 ☎(079)293-2211代 |

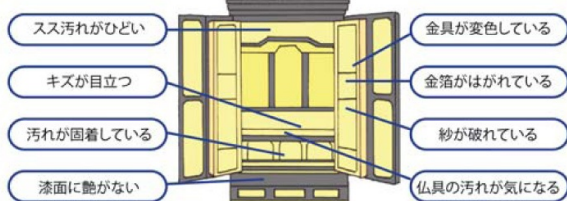
■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

お仏壇泡洗浄専門店

京都北白川 **一步堂** IppodoU



お仏壇を美しくするのは、ご先祖さま大切な亡き方への感謝の心です。
 お宅さまのお仏壇、汚れてないか今一度見直してみませんか？



<泡洗浄>



<金箔泡洗浄>



<金箔補修>



<金具洗浄>



<屏修復>



<外屏磨き>

安価で仏壇仏具の修復のプロが昔の輝きに修復いたします

お仏壇の特許泡洗浄(株)メイクリンお仏壇本舗加盟店

京都北白川 **一步堂**

☎フリーコール 0120-929-666

詳しくは… | 京都 仏壇 一步堂 | で検索!



財団法人 浄土宗報恩明照会

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付:毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 財団法人浄土宗報恩明照会内
 TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ:http://homei.jodo.or.jp

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン

平成24年 12月1日発行 第20号

発行元 フリースタイルな僧侶たち 編集部

〒600-8119

河原町通五条下ル本塩竈町 583-5

kawaramachi place 1002 号室

tel: 075-555-5730

fax: 075-777-9579

e-mail: info@freemonk.net

http://freemonk.net

※ 本誌のコンテンツを無断で転載することを固く禁じます。

題字

しらたきなべお

DTP&デザイン

bdt 山本成美

輪番編集長

辻村優英

総指揮

池口龍法